

【主な事業】事業費総額：1億7,135万円（うち基金充当額1億6,785万円）

事業名	事業費	事業の内容
子ども医療費助成事業（拡大分）	6,730万円	子ども医療費助成（乳幼児医療費助成）の対象者拡大
宅地防災対策支援事業	6,000万円	宅地再建のために、所有者自らが盛土などのかさ上げ工事や擁壁工事などに要した費用の一部を助成
塩竈市地域防災計画作成事業	1,553万円	大規模災害に対応した地域防災計画の作成
自主防災組織支援事業	750万円	地域防災力の向上を目的とした、自主防災組織への助成
地域間交流事業	700万円	観光キャラバンの実施
浦戸総合支援事業	500万円	浦戸地区のコミュニティ維持のため、産学官が連携しての再生支援
中心市街地商業活性化事業	359万円	シャッターオープン事業・商人塾開催
子育て支援センター移設拡張事業	200万円	子育て支援センターの現産業環境部スペースへの移設・拡張

復興、復興と密接に関わる事業を対象とした、「ふるさと復興枠」を新設。財源は「ふるさとしおがま復興基金」を活用し、各種事業に取り組んでいきます。

ふるさと復興枠の新設

【対象事業一覧】配分額：7,196万円

対象施設	配分額	事業の内容
ふれあいエスパ塩竈 塩竈市公民館	1,860万円	空中庭園の改修工事など
遊ホール	560万円	舞台機構（吊り物）の改修
温水プール	300万円	温水プール塗装工事
清掃工場	3,000万円	清掃工場建屋および管理棟屋上の防水工事
塩竈市立第二小学校	1,200万円	体育館屋根の塗装工事
塩釜ガス体育館	171万円	体育館漏水修繕
その他各施設	105万円	保健センター、放課後児童クラブなど

施設の修繕、補修とリニューアルによる既存施設の有効活用を目的として「既存ストック再生枠」を新設しました。特に子どもたちが利用する教育・文化施設に対して財源を重点配分しています。また、緊急性の高い施設の修繕・維持補修に対応するため、各施設の維持補修費などに対して必要額を上乗せ計上しました。

既存ストック再生枠の新設

【全会計予算】総額：695億3,993万円（前年比31.7%増）

＜一般会計・特別会計・企業会計＞

内 訳	予算額	前年比(%)
一般会計	351億8,000万円	25.6
交通事業	2億1,540万円	△1.8
国民健康保険事業	68億9,910万円	3.3
魚市場事業	1億880万円	△5.3
下水道事業	146億4,100万円	106.8
公共駐車場事業	0円	皆減
漁業集落排水事業	7,520万円	212.0
公共用地先行取得事業	3億940万円	3191.5
介護保険事業	48億170万円	6.7
土地区画整理事業	0円	皆減
後期高齢者医療事業	6億6,150万円	△0.3
北浜地区復興土地区画整理事業	8億8,500万円	皆増
市立病院事業	31億8,238万円	△0.9
水道事業	25億8,045万円	20.9

特別会計の主な予算では、地震や津波で被害を受けた北浜地区の区画整理事業が今年度スタートすることに伴い北浜地区復興土地区画整理事業特別会計を新たに設置し、8億8,500万円計上しています。従来の土地区画整理事業（海辺の賑わい地区）は、清算金事務や公債費の一般会計への移行により、会計を廃止しました。また、地震の被害を受けた公共駐車場が解体されたことに伴い、公共駐車場事業特別会計も廃止しています。下水道事業では、本格着工する復興事業費などの計上で75億6,130万円増加しています。

社会保障関係の会計では、主に給付費の伸びにより、国民健康保険事業で2億2,000万円、介護保険事業で3億2,800万円増加しています。

特別会計

【用語解説】

一般会計	福祉、教育など市の中心となる事業の収入と支出を計上している会計
特別会計	特定の収入と支出について、一般会計と分けて個別に設けられている会計
自主財源	市が自主的に収入できる財源
依存財源	国や県の意思によって交付・割り当てられる財源
地方交付税	各市町村の住民サービスの均衡を図るため国が交付するお金
市債	道路や建物をつくる際に国などから借り入れるお金
民生費	生活保護や高齢者・障がい・児童福祉など社会保障関係の経費
衛生費	保健衛生や清掃費など健康で衛生的な生活環境をつくる経費
災害復旧費	地震や津波などによって損壊した学校、道路などの公共施設の復旧経費
公債費	地方債として借入れたお金の返済費用

問 財政課財政係 ☎364-1111（内線238・239）